

ただ、それまで手をこまねいているわけにはいかない。近年はコンビニ弁当など中食や外食向けの需要が増加し、コメ消費全体の3〜4割を占める。市場ニーズは業務用と家庭向けブランド米に二極化しており、きめ細かいマーケティングで対応していく必要がある。こまちはかつてほどの高級感はないにしても、知名度と値頃感を併せ持つため家庭向けとしてのニーズは依然高い。JA秋田おぼこ(大仙市)は、同じこまちでも品質に応じて最上級のプレミアム米から一般米まで4ランクに分けて出荷している。多様化する消費者ニーズに応える試みで、同様の取り組みが全県に広がれば県産米の販売力アップにつながるのではないかと、業務用として以前は低価格のコメが求められていたが、現在は一定以上の品質も兼ね備えていないと販売は難しい。ゆめおぼこ、めんこいな等の多収系ながら食味のよい品種の低コスト生産に努め、安定供給によって市場評価を高めた。18年度には生産調整(減反)が廃止され、コメがだぶつくことも予想される。JAや稲作農家はコメの消費動向を分析しながら、新たなニーズの掘り起こしに取り組んでほしい。



(秋田魁新報社説より転載)

海老名市市 の 話題

バススル海老名

県内初となる高速・観光バスターミナル「BUSSTLE(バススル)海老名」が昨年10月9日(日)、イオン海老名ショッピングセンター駐車場隣に開設された。利便性を向上させることと市内への来訪者を増やすことを目的にしており、地域経済活性化への効果が期待されている。

「バススル海老名」は、県内初の高速・観光バスターミナル。広さは900坪ほどで、現在イオンが平面駐車場として使用している土地の一部を利用して、開設した。名称は、にぎわいを意味する英語「バススル」から命名された。設置の理由は、乗客の安全性確保や交通渋滞緩和、利用者・バス会社双方の利便性向上。圏央道開通以降、利便性の良さから多くの高速・観光バスが海老名を経由しているが、これまで道路脇や海老名駅東口の企業送迎車両ターミナル「e-CAT」で、乗降や荷物の積み下ろしが行われていた。ターミナル周辺には駐車場が多く、市民が利用しやすいというメリットがある。また、バス会社側の使い勝手を良くすることで市外の人や外国人旅行者などの来訪者増加も見込まれ、地域経済の活性化が図られる。



開設の話し合いは、市と連携を図りながら、商工会議所やイオンリテール(株)、イオン海老名ショッピングセンター、タイムズ24(株)、杉崎観光バス(株)によって、一昨秋頃から進められてきた。地域一体となつてこのような事業を行うのは、全国的にも珍しい。

高速バスは、先月17日より深夜に海老名を出発し午前中各地に到着する便の運行が始まった。これまで「ライオンインプラントセンター」前の道路脇にあったバス停が、この「マクドナルド海老名店」裏にできたバススル海老名に移動になったもので、行き先は「名古屋」「大阪・鳥取」「仙台・石巻」「山形・鶴岡・酒田」「長岡・燕三条・新潟」の各方面。

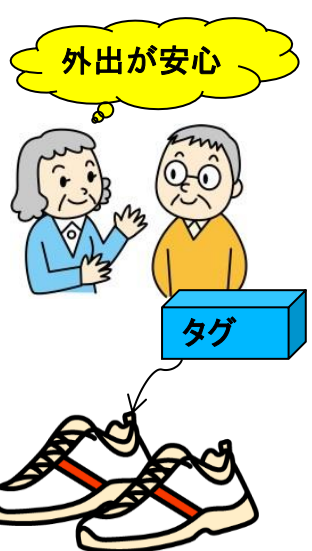
イチゴのシャンプーとトリートメント

海老名市内のイチゴ出荷量は県内トップ。地産地消を目指した事業の一環として、粒が揃わないことなどで廃棄されてきたイチゴを有効活用し商品化されたイチゴシャンプーとトリートメント。生絞り果汁を1%配合し、高い保湿効果で潤いある髪を整えるという。1400円で市役所売店や市内スーパーなどで販売されている。



小型タグで徘徊者进行搜索

海老名市は、徘徊(はいかい)などの行動障害がある認知症高齢者対策を強化するモデル事業をスタートさせた。行方不明や事故の予防など、捜索に係る介護家族らの負担軽減を図るため、大手警備会社から携帯可能な小型端末の提供を受け、地域見守りネットワークの構築を目指します。利用する端末は、小型のタグ(縦6センチ、横3センチ、幅1センチ)で、対象者の靴に収納して位置を確認できるのが特徴で、運用に際してはボランティアから協力者が自身のスマートフォンに専用アプリをインストールする必要があります。



また、補完する感知器(高さ8センチ、幅23センチ、奥行き9センチ)を自宅や介護施設に設置することで、対象者が外出した際にメールで通知してくれます。モデル事業の期間は今年1月から2019年3月。徘徊など認知症問題は今後深刻化していくと思われ、効果を期待したいと思います。

会員のひろば

カラオケ歌うなら 船村 徹さんの曲

「明日のカラオケ忘れないでね」ケイタイにショートメールが入ります。幹事の方から毎月届くメッセージです。人数の少ない同好会ですから、全員参加してくれないと寂しいのです。みんな、好んで歌う曲を持っています。新曲を得意とするSさん、面白おかしい曲を選ぶOさんと様々ですが、私が歌うのは古めの歌で船村徹さんの曲が多いですね。「東京だヨ!おっ母さん」とか「別れの一本杉」「矢切の渡し」「王将」などが得意です。得意と上手とは関係ありませんね。本人が気持ちよく歌えればよいと思っています。船村徹さんはデビューから64年、手がけた曲は5000曲以上もあるらしいですが、残念ながら今年の2月にお亡くなりになりました。

